

令和4年度 放課後等デイサービスくら 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	不明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				
	2	職員の配置数は適切であるか	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1			トイレ空間を広く利用できる工夫をする。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				当事業所HPにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4		外部評価方法を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				全職員が事業所内外の研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				チーム担当者を中心に話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				利用者の実態に応じて変更するようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4				利用時間に応じて、活動内容を決めている。学校がお休みの日については、事業所外の活動の機会、園庭での活動を確保している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				新型コロナウイルス感染症対策として休止していた事業所外活動や調理活動も再開した。個別学習等で個々の支援を工夫するとともに、ゲーム、買い物学習等を行い、みんなで協力し、楽しく集団行動を学べるよう工夫している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				書面、口頭で連絡を取り合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4				欠席職員には申し送り等を行っている。業務前後に共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				活動記録を個々で作成している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				地域の障がい児福祉サービス等事業者定例会に児童発達支援管理者が参加し、情報共有に努めている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4				学校側からの下校時間変更が行われた際の連絡忘れが何度かあった。続く際はデイの方から学校への変更の有無の連絡をするようにした。利用日を双方で確認できるよう、利用者の予約日カレンダーを提供している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4				現在、医療的ケアの必要な利用者はいないが、行動管理の必要なケースはあり、保護者との情報共有に努めている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2				同法人こども園等利用者についての情報共有はできているが、以外の利用者については、担当相談員からの情報に頼っている。保護者の要望を確認しながら、保育所等への訪問も検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1		1		来年度卒業生について、保護者からの要望に応じ、福祉作業所等への訪問、情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1				今後も研修会に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	1			今後の感染症の様子を見ながら行っていく。地域の高校、放課後児童クラブとの交流を検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4					機会に応じて参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4					送迎時にその日の出来事を連絡している。ファイルでやり取りしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4					困り事に応じて相談の機会を持ち、アドバイスしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4					契約時、文書により説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4					必要に応じて相談支援の時間を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3			活動報告等を含めた保護者の交流会を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4					くじらだよりを発行したり、事業所内掲示版に活動の様子(写真)を掲示したりしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4					
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4			事業所への理解を図るために事業所でできる交流の在り方を検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				研修会への参加、指導事例の振り返り等により、適切な対応に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4				個々の実態に応じ、懇談時、対応方法を確認し、個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか					現在、配慮の必要な利用者はいない。今後、必要に応じて対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			1	事例集を作成し、職員間の情報共有に努めている。

